



PICKUP CONTENTS ●1P ニッポン再発見／淡海の手技 ●2P トピック  
ス…多賀公会館オープンイベント／終活セミナー ●3P 東日本大震災／  
歳時記／日本のしきたり ●4P フラワーガーデンアイリス／アイリス広場／  
愛読者プレゼント

RE  
DISCOVER  
NIPPON

## お墓の価値観の歴史 お墓は必要なのか ～人がお墓に求めるもの～ ②

朝日新聞デジタル版の2014年12月12日付に興味深い記事を発見した。「国内最古級の埋葬例か 沖縄の遺跡で縄文時代の人骨」という見出しが掲載されていた。沖縄県南城市のサキタリ洞遺跡で9千年以上前(縄文時代早期)の人骨が見つかり、それは葬られたままの状態とみられ、国内最古級の埋葬例の可能性がある。人骨は仰向けに横たわった状態で、直径30センチの4個の石で頭や胸、腹などを人為的に覆っていたことが分かった。洞穴内を墓として埋葬した可能性もある。過去に約9千年前の土器が見つかった層より下から出土したため、それよりも古いと判断した。という内容だった。

この発見は、今の時代からは想像することが困難な縄文時代の早期から、亡くなった人に対

して次の世代のものが供養や偲ぶ気持ちをもっていたことを示している。

それでは、いつの時代からお墓に時代の特徴が反映されるようになったのだろうか。日本人がお墓に最もエネルギーをかけたのは古墳時代と言われており、わずかな時代に実に10万基も古墳が造営され、最後にはその乱開発によって土地問題が生じたほどであった。権力の象徴としてお墓(古墳)が重要視されていたことも分かった。一般の庶民には遺体をそのまま遺棄するか、多くの遺体を一緒に埋葬し、お墓は作らない遺棄葬が普通だった。そうすることで死者の魂が浄化すると考えられていた。

時代が進み、江戸時代に入ると、幕府はキリシタン禁制策を敷き、庶民に必ずどこかの寺の

檀家になることを義務づけた。その結果、それまで他人同士と一緒に土葬されていた庶民が個人のお墓を持つようになった。

明治時代には墓地の設置に規制が設けられ、墓地を新たにすることが難しくなり「家制度」を定着させるために墓の所有権を「家督相続の特権」として法制化して以後、現在もみられる「家墓」や「先祖代々の墓」のかたちをとるようになった。

しかし、この家制度は太平洋戦争後の民法改正によって否定され、お墓も「家の時代」から「個人の時代」へと移った。

次回、「広がるお墓の種類とその背景」予定。

田中稔さん 2014年立命館山高等学校卒業論文  
『お墓は必要なのか～人がお墓に求めるもの～』より



協力 再興湖東焼 一志郎窯  
彦根市本町1-6-22 tel.0749-24-6711  
<http://www.kotouyaki.jp/>

平成の世に再興した湖東焼は、時代の流れを乗り越えこれからも守り継がれていく。

湖東焼の中でも代表的な絵付け技法である赤絵金襴手は、本焼と呼ばれる約1300度で焼かれた素地に、上質のベンガラを原料とする赤絵具で繊細な絵を描き仕上げ、さらに金絵を施し焼き上げたもので、一筆一筆手描きで絵付けを行うため一つの作品を仕上げるのに1ヶ月かかることもあるという。

そんな中、「再興湖東焼 一志郎窯」では、30年ほど前から湖東焼の再興に取り組み、湖東焼独特の青みを帯びた素地と緻密で豪華・高尚な画風を後世に伝えるべく活動を続けている。

湖東焼は、江戸時代末期に彦根で確立された焼物だ。呉服商の絹屋半兵衛が佐和山山麓に築いた窯で成功させたのが始まりである。その後、彦根藩の直管となり井伊直弼公の時代に最盛期を迎えるが、直弼公暗殺を境に衰退し明治中期に一度途絶えてしまう。以降、復興の企画が何度あったが日の目を見ることはなかった。

伝統

淡海の手技  
再興湖東焼

\*画像は一部加工しています

多賀公益会館の開設を記念してオープンイベントを開催いたしました。イベント開催に先立ち、地元多賀町長にもご臨席を賜り、竣工式を執り行い、地域振興に役立てていただくよう金百万円を多賀町に寄贈させていただきました。

初日6日、旭堂南海師の講談『多賀大社のルーツ』は、「イザナギ、イザナミの国産み」、「太閤橋」や「糸切り餅」など多賀を再発見する大変興味深い内容でした。まるで見てきたかのような語りで、講談独特の笑いに包まれたひと時を過ごすことができました。翌7日は、笑福亭鶴二師匠、笑福亭遊齋師匠の落語で大爆笑!さすがに生の高座は大迫力です。

その他、公益社セミナーでおなじみの戌亥正三郎氏の家族葬のお話、税理士 田井尊之氏の葬儀後の手続きの解説、ブースでは司法書士、税理士の先生と個別に相談できる機会を設けました。

また、ホールでの実際にお棺に入ってみる入棺体験(長生きできると言われています)、ご親族控室を使用しての生前写真の撮影会や手元供養のご紹介、バルーンアートのプレゼントはお子様が大人気。スタンプラリーでは、館内を全部まわり終わった方のお楽しみ大抽選会(空くじ無し)で、ガラポンの回るたびにため息や歓声があがり、それぞれに楽しいひと時を過ごしていただけたのではないかと思います。

屋外では、寒い中をお越しいただいたみなさまに暖まっていたけるよう、おでんやうどん、ぜんざいでおもてなしました。

2日間のイベントで、お子様から年配の方まで1,600名を超えるみなさまに数々の催しを楽しんでいただくことができ、地元の方々と直接触れ合うことのできたことに、私たちは心から感謝しております。みなさまのご期待に添えるよう、真心を大切にスタッフ一同、地域に密着した信頼のネットワークを築いてまいります。

(葬祭部:山本学)



▶多賀町長に目録を贈呈



▶旭堂南海師の講談「多賀大社のルーツ」



▶プロのカメラマンによる生前写真撮影



▶落語会ではホール内大爆笑!



▶故人を身近に...手元供養のご紹介



▶長生きできると評判の入棺体験



▶大好評の抽選会



▶屋外食品ブースであっつまりました



▶プリザーブド教室



▶お花の特売会は終日大賑わい!

敷地内に Flower Garden IRIS 多賀も同時オープンさせていただきました。お花の即売会、プリザーブド教室を開催。華やかでにぎやかな2日間でした。地域のお花屋さんとして、これからどうぞよろしく申し上げます。

(生花部:岩本由美)



犬上郡多賀町多賀1479番地  
TEL.0749-48-7500 FAX.0749-48-7600

## 終活セミナー 開催いたしました

メモリアルプラザ公益会館 2016年1月30日(土)

「初めての喪主」講師:冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏  
・もしものときの喪主の心得  
・葬儀費用について

\*今後の予定は本紙・ホームページにてお知らせいたします。

八日市公益会館 2016年2月21日(日)

「初めての喪主」~葬儀費用・事前見積編~  
実際の費用を参加者が各々記入し、葬儀費用の事前見積りを作成。

## あれから5年 東日本大震災



2011年3月11日に発生した東日本大震災から5年の歳月が過ぎました。復興への明るいニュースも届くと同時に、いまだに困難な状況の中、必死に頑張る人たちがたくさんおられます。阪神淡路大震災では5年が過ぎた頃には仮設住宅は必要なくなったにも関わらず、東北では、今も多くの方々が仮設住宅で暮らしておられます。災害の大きさ、原発の事故の深刻さを改めて感じています。

私たち公益社は震災直後に資材や人材の協力をさせていただきました。今も多く課題がある中、震災で両親を失った震災孤児を支援する「NPO法人JETOみやぎ」の活動に対し、各公益会館に設置させていただいている「募金箱」や人形法要祭のお供え、賛助金など支援を続けています。「NPO法人JETOみやぎ」は、子供たちが、それぞれの「生命(いのち)の物語」に向かって健全に飛び立つことを願い活動が始まり、2014年8月26日、認定NPO法人となりました。被災地から遠く離れた私たちにできることはわずかですが、震災の記憶を風化させることなく、目の前にある日々の仕事に精一杯取り組みたいと思います。(吉田良子)

## THINK JAPAN 春のお彼岸とお墓参り 歳時記

お彼岸は太陽が真東からのぼり、真西に沈み昼と夜がちょうど同じ長さになります。亡くなった方との距離が一番近く感じられる日でもあります。ご先祖様を想い、今日ここに自分が存在するのも、つながりがあるのだと感じお墓参りをするのだと思います。(「彼岸」はあの世のことで、その反対は「此岸」、この世です。)

それでは、お墓参りはいつ行けばいいのか。お仕事や生活の都合もあるので彼岸の入り、中日、明けの一週間のうちにお参りされてよいと思います。今年は彼岸の入り3/17(木)・中日3/20(日)春分の日・彼岸明け3/22(火)。まわりのお墓がきれいになり、お花が供えられ、お線香が上がりお参りの方でにぎやかになる時期でご先祖様のお墓もきれいに差し上げたいですね。

お墓参りは、ご先祖様のご冥福をお祈りするだけでなく、ご先祖様から与えられた命であることに感謝する場でもあります。

(星野史)

## THINK JAPAN 日本のしきたり

### 「引っ越し」と「餞別」

この時期(3月~4月)と言えば企業の転勤等で、出会いと別れのシーズンです。仲良くなった人達との別れに、何か「餞別」を贈りたいと思うのが、人の気持ちでしょう。

日本の「しきたり」から引っ越しと餞別の意味を探ります。

#### 「引っ越し」の起源

人が一つの地に定住し始めたのは、およそ1万5千年前(縄文時代)といわれています。それまでは、きままな遊動生活をしていたのです。その後農業や漁業を始め安住しましたから、この頃から引っ越しと言う作業が始まったのです。

日本の正式な引っ越しは、平安時代の頃と思われる。貴族の役人が昇進するに従って大きな屋敷に移る「家移り」です。

引っ越しの言葉は、「引き越す」川や山を越えて向こうへ行くの意味で、荷車などを引く、或いは現在の場所から退く(ひく)から来ています。江戸時代に入りますと、庶民も転居する様になり、こちらは「宿替え」「屋移り」と呼ばれていました。

#### 「引っ越し専門業者」の出現

昭和20年頃からトラックが普及し、それまでは馬車や荷車等の人の手で運ばれていた引っ越しの荷物は、トラック運送へと変革していききました。高度成長期に都市部への流入が急増し

て、郊外に「団地」が建ちますと、引っ越しラッシュの現象が起こりました。

更に昭和50年頃の第1次オイルショック時代に「引っ越し」を商品にした「引っ越し専門業者」が出現したのです。それまでの引っ越し作業には、荷物に対しての配慮が無く、電化製品や家具、お皿など多少傷ついても、割れても仕方がない状況でした。トラックにビニールシートだけを被せて運ぶ、少々荒っぽい光景は当たり前でした。オイルショックで原油が上がり、トラック業界も不況におちいり厳しい時代に入りました。そこで新しい考え方で「引っ越し業」に本腰を入れ出したのです。各社のテレビCMの大宣伝が始まり、引っ越しが「商品」であることが定着したのです。その後どんどん業績を伸ばしました。いわゆる、需要と供給がマッチしたのです。

#### 「餞別」の起源

「餞」は「馬の鼻向け」という意味で旅立ちに際し、馬の鼻を目的地に向けて道中の安全を祈ったことから来ています。平安時代の「土佐日記」にも、「うまのはなむけ」が記載されています。現在の意味でも、転任する人や遠くへ旅立つ人などに別れのしるしに、金品や物品を贈ることです。



歴史的には前号で掲載しました「お土産」の習慣に類します。江戸時代に人々は伊勢神宮に参宮するために、仕事の合間に仲間を集めたり、日にちを決めたりして準備をします。

その時に皆さんから「餞別」が届くのが習わしでした。旅立ちの日は親類や友人が酒を酌み交わしながら、道中についてそれぞれからアドバイスを受けました。村を代表して伊勢にお参りする人に「餞別」を渡し、自分たちの分もお祈りしてもらおうと願ったのです。

現在の「餞別」はその様子が大変変わってきました。最近は離れていても、メールや電話で話す機会が多いので、昔ほどの意味が無くなってきています。

お互いの家を行き来するような、同僚・親戚・友人などの引っ越しには「餞別」として基本的には品物を贈りますが、現金を贈ることも多くなりました。家やマンションを購入しての引っ越しには「引っ越し祝い」として贈ります。又転勤による引っ越しには「昇進・栄転祝い」となります。

(猫田文吾)

## FLOWER GARDEN IRIS から

少しずつ風もやわらいでいる今日この頃。春は、卒業・入学・入社…新しい毎日が始まる季節でもありますね。環境が変わる時は、誰でも希望とほんの少しの不安を抱えるもの。そんな時に、背中をポンと押してあげられるようなプレゼントを贈れたら、その不安な気持ちを少し和らげることができるかもしれません。お花で、さりげなく応援している気持ちを伝えるのもオススメです。春のお花に「想い」を託してみませんか？



### 春の門出にぴったりの花言葉

- スイトピー ✨ 門出
- アルストロメリア ✨ 未来へのあこがれ
- 小手鞠 ✨ 伸びゆく姿
- アイリス ✨ 吉報
- マーガレット ✨ 真実の友情

今年は、シチュエーションに応じた花言葉をお伝えしていきます。  
「こんな時にぴったりのお花は？」など、ご質問も受け付けています♪

### ♥ イベント & サロン 開催のお知らせ ♥



♥ IRIS では、みなさまに楽しんでいただけるイベントなど企画しています。まずは「春の花まつり」。今年もみなさまに春をお届けします。お楽しみに♪  
♥ 多賀店では、IRIS 初の「サロン」を開催します!! 詳しくは、同封のチラシをご覧ください。  
私たちと一緒にお花を楽しみませんか？  
スタッフ一同 心よりお待ちしております。



■ HIKONE 彦根市小泉町696番地 tel.0749-26-8783 fax.0749-26-4141  
■ TAGA 犬上郡多賀町多賀1479番地 tel.0749-48-2333 fax.0749-48-2555

## ご愛読者プレゼント

会員みなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて



「淡海の手技」で紹介の再興湖東焼 一志郎窯様  
**スープマグカップ ペア**  
応募締切  
平成28年3月20日(日)必着

\*写真はイメージです

抽選で  
**10**  
名様に

- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

- vol.56 (プレゼント) 抽選者
- 多賀や様の糸切餅  
■彦根市/内堀弘司様・綿谷秀次様・杉村進様・大橋照子様・塚本晃大様・井上きいろ様 ■東近江市/田中充様・小嶋芳弘様・今若清子様 ■近江八幡市/山下正和様
- 迎春寄せ植え  
■彦根市/吉田正様・井上泰子様・大橋陽子様・中村敏造様・川口三代子様  
■多賀町/豊原隆夫様 ■東近江市/小椋経雄様・岡地良子様・植田昇様  
■近江八幡市/吉岡勝司様

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地 TEL.0749(22)5000(代) FAX.0749(22)0042

## アイリス広場

Q & A

- Q 祥月命日について教えてください。月命日との違いは？(彦根市70代女性)
- A 故人の亡くなった月日と同じ月日を、祥月命日と呼びます。例えば4月1日に亡くなった場合、毎年4月1日が祥月命日になります。月命日は、故人の亡くなった日と同じ日をいいます。祥月命日は、年に一度だけですが、月命日は、祥月命日を除いた毎月にあたるため、年に11回の月命日があるという事になります。
- Q 家族葬にきめても、会社・ご近所などつき合いが大変です。どのようにされているのでしょうか？(近江八幡市60代男性)
- A 家族葬はご家族だけで行う葬儀やご親族およびごく親しい友人だけで行う小規模な葬儀ですが、葬儀が終わってからお悔みに来られるなどの対応に追われることもあるようです。ご近所や会社へはご逝去のお知らせと共に家族葬で執り行う旨を伝え、お参りをご遠慮いただく事前の周知が必要です。しかし、葬儀後にお家にお参りに来られた方には丁寧にご対応ください。
- Q 墓石はどの向き(東西南北)が良いのですか？いろいろな向きに建てられていますが決まりは無いのですか？(彦根市60代男性)
- A 特に決まりはありません。よく東～南向きが好まれますが、これは日当たりが良く、お墓が日常的に明るく、湿気のない清潔な環境になるということから、お墓参りが気持ちよくできると考えています。また、浄土系では西方浄土といい、仏様は西におられると言われる、西を向いて拜むため、お墓は東向きになります。しかし、方角だけではなかなか判断しづらいので、周りの環境や施設の状況も考え、気持ちよくお墓参りができることが大事なことではないかと考えます。

## みなさまのおたよりから

- 毎回多種多様な情報ありがとうございます。貴社が取り組んでおられる色々な催し物に驚きました。これからも多くの情報発信をお願いします。(東近江市60代男性)
- お正月のことが分かって良い記事がたくさんありました。これからも季節毎の記事を楽しみにしています。(彦根市50代女性 他多数)

編集部より

春の訪れを感じられるようになった今日この頃。今年の冬は例年になく暖かったというものの、一日も早く春の陽気を心待ちにしていたのではないのでしょうか。

冬から春へ、自然の力が私達の生活に安らぎや精神的潤いを与えるのを感じ、春の訪れで新緑や咲き乱れる花々の彩りは、私達のほを楽しませ清々しい気持ちにさせてくれます。明るい春に向かい元気に過ごしたいと願っています。 アイリスクラブ事務局 吉田

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

☎ 0120-61-4000

今月の虹の色は桃色(ももいろ)。その起源は古く、万葉集にはすでに「桃花裾(ももそめ)」という記述が見られます。柔らかい優しい印象で、女性的なイメージが強く、心や体に満ち足りた気分をもたらしてくれます。